

令和6年度 第3回 第4次栗東市食育推進計画策定会議 会議録要旨

日 時	令和6年10月9日(水) 午後13時30分～午後15時30分
場 所	コミュニティセンター治田東 大会議室
出席委員	早川 岳人委員(会長)、新木 真一委員(副会長)、鶴飼 周太郎委員、富田 文代委員、荒川 美穂子委員、武村 秀夫委員、大隅 喜仁委員、三木 美智代委員、鯉谷 美沙子委員、岸田 修委員、住吉 由加委員、平子 裕子委員、中沢 有紀委員、小關 和美委員、小田 和美委員
事務局	子育て支援課主幹、幼児課管理栄養士、こども家庭センター係長、農林課主査、学校教育課課長補佐、学校給食共同調理場管理栄養士、健康福祉部長、健康増進課係長、健康増進課管理栄養士、計画策定業務委託事業者
事 項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 市民憲章唱和</li> <li>3. 挨拶</li> <li>4. 報告事項</li> <li>5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第4次栗東市食育推進計画(案)について</li> <li>(2) 第4次栗東市食育推進計画概要版(案)について</li> <li>(3) パブリックコメントについて</li> </ol> </li> <li>6. その他</li> <li>7. 閉会</li> </ol>

1. 開会

2. 市民憲章唱和

3. 挨拶

- ・早川 岳人会長が挨拶を行った。

4. 報告事項

事務局 前回の策定会議にてご質問があった「大規模災害発生時の備蓄や協定等について」事務局より回答する。当市では、発災後3日間は市民、市、県がそれぞれ1日分備蓄するという考えで、市の備蓄目標を設定している。具体的な備蓄内容としては、

アルファ米を使ったわかめご飯や五目御飯、クラッカー、パンの缶詰、おろしりんご、リポビタンゼリーなどになっている。

また、発災4日目以降からの支援に関する協定は、近隣市や遠隔市の他、さまざまな事業者と結んでいる。支給内容の例としては、JAならおにぎり、米等、平和堂なら食料品といった記載になっており、具体的には示されていないが、店舗にあるお弁当やおにぎり、日持ちするパンなどになる。

## 5. 協議事項

会 長 この会議は原則公開となっている。会議の公開について、自由闊達な意見交換ができなくなる協議事項の場合や、会議の公正かつ円滑な運営に支障が生じると認められる協議事項の場合は非公開とすることとなっている。本日の協議事項について、非公開とすべき協議事項はあるか。

・意見なし。これにより、本日の会議はすべて公開となった。

### (1) 第4次栗東市食育推進計画(案)について

・事務局が資料の説明を行った。

委 員 43頁の評価指標『けんこう』の項目、「ふだん朝食を食べていますか」について、女性がなく、男性の20代、30代、40代だけ書いているのには意図があるのか。

事務局 その年代の男性が特に朝食の摂食率が低い年代になっている。

会 長 下の備考欄に、女性の割合を参考値として入れてはどうか。

委 員 男性15歳以上というのは15歳以上すべてを含むのではなくて19歳までという意味か。

事務局 15歳以上すべてになる。

委 員 6頁SDGsの考え方で、「この計画では、17の目標のうち、主に次の目標が関連しています」となっているが、「目標1 貧困をなくそう」の項目は何頁を見ればよいか。

事務局 50頁の取組No.39、51頁のNo.40、41などになる。

委 員 53頁「たいけん」に米と野菜の農業体験が入っている。米以外の野菜は実際作っているのか。

事務局 小学校によってはお米だけではなく、治田東小学校や大宝西小学校などで野菜の栽培もされている。

委員 それはサツマイモの掘り起こしとかではないか。

事務局 それは地域振興協議会といった団体がいただいている行事であり、あくまで学校の食育体験の一環としてされ、実績もいただいている。

委員 給食の食べ残しはどれくらいあるか。

事務局 給食の残滓率についてはセンターで毎日調査をしている。献立によってのばらつきはあるが、重量ベースで10%から多い日で20%くらいというのが概ねの数字になっている。もう少し詳しい数字が必要であれば調べさせていただく。

委員 それは野菜なのか、米の数値なのか。

事務局 お米については各学校のクラスごとに、残滓の量に応じて多少増減の調整をさせていただいている。ほかに野菜や、魚などの食材、調理方法によって違いはある。

会長 10%というのは全体になるのか。

事務局 はい。

委員 特別栽培米研究会の会長をしており、学校給食に米を入れている。計画書へ食べ残しが書いてあるので伺った。

会長 感覚的にはご飯が多いか、それともおかずの方が多いか。

委員 それをはっきり言ってもらわないと。我々としても、やはりおいしいと言って食べていただく、食べ残しが少ない米を作りたい。

事務局 感覚的には、給食時間の関係やその他の要素もあってこちらが食べてほしいと思っているよりも食べられていないと感じている。ただお米に関しては「おいしい」という声はよくセンターの方に届いているので、子どもたちはおいしくいただいていると思う。

委員 実施されている事業は、広報を見れば掲載されているのか、それともホームページを見て申し込むのかを教えてくださいたいのが1点。もう一つ、計画の推進に向けてということで、デジタル化に対応した食育の推進とあるが、52頁にある二次元コードを読み込んで動画を見るというのが、デジタル化に対応しているという考えでよろしいか。

事務局 まずは、講座やイベント時の掲載方法ですが、イベントにもよるが広報での募集がメインとなることが多い。その他、ホームページやチラシの配布、掲示での募集方法がある。デジタル化については、感染症拡大に応じて取り組まれた給食の製作動画を各小中学校で視聴していただいた取組、加えて食育に関する動画作成がある。

デジタル化については、さまざまな取組を参考にして推進したい。

- 委員 第4次計画は二次元コードを入れるイメージか。
- 事務局 計画書のコラム欄も一面に詳細を書くのではなく、簡単に説明させてもい、読み込むことで詳しい情報を見られるように考えている。また、概要版を作成するにあたって郷土料理の紹介をしたいと考えている。郷土料理の名前や写真に加えてレシピまで載せると見にくくなるため、レシピはコードで読み取って見られるように仕上げていきたい。
- 委員 一般市民も見られるような形にしていれば。
- 会長 市民に見やすいものを作っていくという辺りは留意していただきたい。
- 委員 46頁のNo.14の「カルシウム摂取不足と運動不足の解消に関する啓発」について、「運動により子どもの頃から骨量を高め」とある。これは良いことではあるが、ニュースで公園でのボール遊びや騒ぐことが禁止になり、子どもたちが遊ぶ場所が減っていているというのを見たが、栗東市ではどういう状況か。
- 事務局 栗東市でもご近所の方等からクレームなどが寄せられることもある。また、ボール遊びができる公園は限られてはいるが、栗東市民体育館併設の公園等に設けているため、そういった場をご活用いただくことになるかと思う。
- 委員 食べることと身体を動かすこととはペアなので、大事だと思っている。健康りっとう21の中間見直しのタイミングに合わせて、一体的に食育の計画も進めていくというご説明をいただいていた。子ども親世代も運動量が減っており、70代の男性になると運動量が増えるが、全体的に運動量が減っており男性の肥満が進んでいる。個人でお金を払ってジムに行くような方はご自身の考えで身体を動かされるが、生活しているだけでちょっと身体を動かすような街というところを県としても大事に思っている。栗東市としても健康りっとう21の議論の中でも出ていたかと思うので、食育と運動の部分と合わせて一緒に今から考えていただけるといいかと思う。
- 委員 学校給食では子どもはどの種類の野菜を一番食べているか。
- 事務局 よく噛まないといけない、例えばゴボウ、レンコンといった食材が残滓としてはあがってきやすい。その他のものはよく食べていると感じている。
- 委員 喜んで食べていただく野菜を多く作りたいために聞かせていただいた。
- 会長 ピーマンが嫌いとかは。
- 事務局 クラスの中にはいると思うが、特定の野菜でこれが入っているからよく残ってくる

- というものは特にはない。クラスの中で好きな子もいれば嫌いな子もいるのだと思う。
- 会 長 料理の仕方などによるのか。
- 事務局 それもあると思う。「今日の味付けは野菜の苦手な子でも食べやすかったです」という感想も来たりするので、種類ではなくメニューなど味付けや調理方法、切り方なども関係してくると思う。
- 会 長 10%とおっしゃっていたが、周りの市、草津などはあまり変わらないのか、高いのか、今でなくていいがわかれば、栗東の10%が多いのか低いのかなど比較できないかと思った。
- 事務局 参考にさせていただく。
- 委 員 残滓の件ですが、孫が小学1年生と4年生で、全部食べられたらまた入れてもらえるらしく、結構食べてくるので、残滓の量だけ見て全体が食べているかどうかはわからないのではないかと思った。ゆっくり食べてまだほしい子もいれば、時間が決まっていて残しているのかわからないが、一概には言えないのではないか。
- 子どもの野菜不足ですが、ベジチェックという機械は子どもでも測れるものなのか。健康推進員で野菜を持って行って1日の350gを測って皆さんに見せていたが、ベジチェックができたらいいと思った。
- 事務局 ご意見を参考に、ベジチェックを持っている企業や健康推進員さんにも取り組めるか話をしたいと思う。
- 会 長 計画は評価をする機会はあるか。例えば目標、取組が進んでいるかどうかはいつ行うのか。
- 事務局 計画策定後は事務局で年2回集まり、その年の計画と年度末に実績報告・評価しており、今後も継続していく。
- 会 長 目標を立てて取組をしたけれど、評価できていなければもったいないし、どこを重点的にやればいいのか優先順位も出てくるかも知れない。令和17年まで毎年評価して、皆さんにフィードバックしていただきたい。

### (3) パブリックコメントについて

- ・事務局が資料の説明を行った。

- 会 長 パブリックコメントは概要版も含めてか。また、たくさんの意見が出てくるものなのか。

- 事務局 パブリックコメントは計画書のみ。前回はおそらく10件ほど出ていたと思う。
- 会 長 これによって市民がどれだけ食育に対して関心があるか分かる。簡単に分かりやすく出していただいて、関心を持っていただくことが私たちの協議の結果につながるの  
でお願いしたい。
- 事務局 コラムや取組の写真を入れるなど、分かりやすいものに仕上げたい。
- 委 員 広報でパブリックコメントについてというところがあった。この会議に出てパブリッ  
クコメントがあると知り、このことだなとつながった。すごく記事が小さい。広報は  
どこが作っているのか分からないが、市民に呼びかけているということを出した方が  
コメントは集まると思う。
- 副会長 これは市役所に限らない。国もパブリックコメントを求めており、一部の関心がある  
人が書いているだけで、国の政策などを進めていくために意見を聞いたというアリバ  
イづくりのようなレベルで終わってしまっている。一般市民の方は国や県、市がパブ  
リックコメントを募集していることを知らない、パブリックコメント自体を知らない  
という状況がある。市民の声を聞いてこういう政策を決めるのですよということを発  
信していただいて、これを改善していかないといけない。
- 会 長 これだけではなく、いろんな基本方針に関わること。市民にはパブリックコメント  
がまだなじみがないかもしれない。栗東市だけでなく国民全体が。
- 事務局 広報の「パブリックコメント募集します」と掲載した記事に「パブリックコメント  
とは」という説明を載せることで理解できるのではないかと思うので、声をかけて  
みたいと思う。
- 会 長 市民の苦情窓口にはなってほしくない。「これとは関係ないけど」は困ります。客観  
的、冷静に、ちゃんとした意見をいただきたい。そこはハードルを設定しておいた  
方がいい。多くの人から意見が聞ける形、見出しの仕方は一度ご検討いただきたい。
- 事務局 本日の会議でのご意見や、10月25日までに委員からいただいたご意見を受けて修正  
したものでパブリックコメントを行う。お伝えしたとおり12月がパブリックコメン  
トの時期になるので、修正した計画書案の最終確認は事務局一任ということさせ  
ていただいてよいか。
- 会 長 10月25日までに皆さんからご意見をもらって、後は事務局一任という形でいかがか。  
(異議なし)

## 8. その他

- ・第4回第4次栗東市食育推進計画策定会議について。

令和7年2月7日（金）午後1時30分～午後3時30分を予定。

## 9. 閉 会

- ・新木 真一副会長が挨拶を行った。

以上